

革新的 GX 技術創出事業
令和 7 年度ステージゲート評価結果

1. 領域

「蓄電池」領域

2. 研究開発課題名

資源制約フリーなナトリウムイオン電池の開発

3. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

駒場 慎一（東京理科大学理学部第一部 教授）

4. 評価結果

ステージゲート通過（条件付き）

総評

- (1) ナトリウムイオン電池のフルセルに向けた研究体制を確立し、正極・負極の面積容量の向上と、電極面積の拡大・積層等のセル設計に取り組んだ。その結果、短期目標として設定したエネルギー密度に近づく性能のパウチセルの作製に成功した。
- (2) 今後は、フルセルで優れた特性が顕示するかの確認を着実にを行いながら研究を進めること。逆に高入出力特性や低温特性がフルセルで示せたとしても、一般的理由説明で終わらせるのではなく、ハーフセルを用いた要素研究によって科学的に解明すること。
- (3) 実用電池を目指すチーム研究に直接的に貢献する研究の割合を上げるため、チームメンバーの役割を見直すこと。

以上